

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(令和元年度)

2. 分野別状況(2)地域活性化総合特区 ⑥まちづくり等分野 (2/3)

	総合評価 (ⅠとⅡとⅢを1:1:2の割合で計算)	Ⅰ 目標に向けた取組の進捗	Ⅱ 支援措置の活用と地域独自の取組の状況	Ⅲ 取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
柏の葉キャンパス「公民学連携による自律した都市経営」特区 (千葉県柏市)	4.1	4.7 <u>進捗度</u> ・各主体の参画による活動の活性化 122% ・新ビジネス創造と地域経済の活性化 102% ・AEMSを活用した環境配慮型都市の確立 250% ・先進的・包括的健康・介護サービス体制の構築 77% ・虚弱予防活動の展開 111%	3.0 <u>規制の特例等</u> ・訪問リハビリテーション事業所整備推進事業 ・歯科衛生士等居宅療養管理指導推進事業等 <u>地域独自の取組</u> ・事業推進に向けたプロジェクト連携会議の開催等	4.3	・長期的な視点が確保されている点が評価できる。 ・「まちづくり」分野では順調な進捗がみられる。特に公民学連携の成果が蓄積され、スマートシティモデル事業へと発展しており、今後のまちづくりの新たな展開も期待。 ・数値目標(2)「柏市内ベンチャー企業の支援件数」は堅調に積み重ねられている一方で、これらのベンチャーのその後の経営状況や事業継続の状況などもぜひ追跡していただきたい。 ・住民主体の活動に関しては堅調に維持できている一方で、ライフ分野においてやや取組状況が停滞している印象がある。加えて、特区として活用できる支援措置については活用されていない状況。 ・新型コロナウイルスの影響が懸念され、新たな状況に合わせた目標や活動の見直しが必要。